

加東市教育大綱について

スローガン 「人間力の育成」

基本目標 — 「学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に！」 —

人間は、自らの学びや他者との学びあいによって、心身ともに成長します。

学びをとおした生きがいづくりを目指し、「人間力」向上を図っていくことは、学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市の実現に繋がっていくものと考えます。

基本方針

1. 人間力の育成

(1) 子どもにかかわる「人間力」

児童・生徒においては、①基礎学力、思考力、②他人とのかかわりにおいて、思いやり、命を大切にするなど豊かな人間性、③体力、精神力、④個性、さらには、4つの基盤にある「意欲」、「ねばり強さ」を総合した概念ととらえ、育成します。

幼児においては、集団生活の場で、身体活動や表現活動ができる力を身につけ、基本的生活習慣の確立と他人とのかかわりの基礎を学び、読書などとおして、やさしい思いやりのところを育てていきます。

(2) 教師にかかわる「人間力」

教師に求められる「人間力」は、豊かな人間性に基づく指導力で、授業で勝負できる教師づくりや子どもの内面を深く理解し、確かな児童生徒理解に基づく指導を行うため、教師の豊かな人間性の育成に努めます。

(3) 加東市民にかかわる「人間力」

人間力を高めるために、①市民が集う、②人間性、個性が高まる、③健康が維持・増進できる、④他人の役に立つ、の4つを狙いとして、様々なスポーツ活動、文化活動、人権学習等に取り組みます。

2. 学校教育の重点

(1) 生きる力を培い、個を生かす教育の充実を図る

子どもたちの「生きる力」を育むためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を調和よく育成します。

(2) 安心して学べる環境づくり、信頼される学校づくりの推進

信頼される学校づくりを実現するためには、校長のリーダーシップのもと、教育課題に対して迅速かつ組織的に対応するとともに、保護者や地域に対して積極的に情報公開を行い、説明責任を果たし、開かれた学校づくりを進めます。

(3) 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの学びや育ちを支える

子どもたちが多様な体験や交流を経験し、豊かな成長が遂げられるよう、学校・家庭・地域が連携・協力し、一体となって子どもたちの教育に取り組みます。

3. 社会教育の重点

(1) だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりの推進

市民だれもが生きがいを見だし、学習成果を地域社会の課題解決に生かせる社会教育・生涯学習の振興や、それぞれの年齢や体力に応じて、「いつでも、どこでも、気軽に」スポーツに親しめるよう、スポーツの振興に取り組みます。

(2) 共生社会と人権文化の創造（人権尊重のまちづくりの推進）

市民一人一人の人権が尊重される自由で平等な社会づくりに向けて、すべての人々が人権尊重の精神を当たり前の社会意識として身につけて行動し、人権を基本とした人間関係が広く社会に根づく、「共生社会と人権文化の創造」をめざします。

(3) 人権尊重と男女共同参画の意識づくり

人権尊重と男女平等の意識を根づかせ、社会における制度、慣行の見直しを図り、男女共同参画に関する理解を深める啓発に努めます。

(4) あらゆる分野へ参画できる機会づくり

地域社会の発展を支える対等な一員として、あらゆる地域活動に参加・参画できるように働きかけるとともに、講演会や学習機会の充実を図り、意識啓発を進めます。

(5) 男女がともに豊かに働ける環境づくり

ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発を進め、仕事と育児、介護などの両立を支援し、多様な働き方を可能にする職場づくりや環境の整備を進めます。

(6) だれもが安心して暮らせる地域づくり

子育てを社会全体の取組として、市民の理解と広がりを持った支援体制の確立と、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

また、年齢や障がいの有無にかかわらず、男女がいきいきと安心して暮らせる環境づくりをめざします。

(7) 市立図書館の充実

市立図書館が、市民の豊かで潤いのある生活の創造の場になるとともに、まちづくりにおける生涯学習の基盤施設となるように努め、いつでも、誰でも、どこでも楽しく読書できる環境づくりをめざします。

4. 活力ある教育環境づくり

(1) 小中一貫教育の推進

小学校から中学校への接続を円滑化し、小学校と中学校の教職員が、子どもたちの育ちと学びの連続性、適時性を考えることで、差を埋め、人間関係や学力向上につなげていくため、小中一貫教育について研究し、その推進を図ります。